

2019 年7 月30 日

府中市長 高野律雄 様

放課後児童健全育成事業（学童クラブ）2020 年度予算編成に関する要望書

府中市学童保育連絡協議会 会長

第一学童クラブ会長	住吉学童クラブ会長
第二学童クラブ会長	新町学童クラブ会長
第三学童クラブ会長	本宿学童クラブ会長
第五学童クラブ会長	矢崎学童クラブ会長
第七学童クラブ会長	小柳学童クラブ会長
第八学童クラブ会長	四谷学童クラブ会長
第十学童クラブ会長	南町学童クラブ会長
武蔵台学童クラブ会長	日新学童クラブ会長

平素より、学童保育事業及び児童の健全育成事業にご尽力いただき、厚く御礼申し上げます。

さて、私たち府中市学童保育連絡協議会（以下、府連協）は、今年度府中市の16 学童クラブの父母会により構成され、市内の学童クラブに通う子どもたちが、安全で豊かな放課後の時間を過ごせるように、50 年以上活動を続けています。

（現在、上記に記載のない学童クラブについては府連協活動休止中）

近年は就労体系の多様化、シングル家庭の増加、子どもを狙った犯罪の増加など、学童クラブの存在意義がより強くなってきています。昨年度実施した学童クラブを利用する保護者全世帯（約1,400世帯）を対象とする利用者アンケートをもとに意見を集約し、学童クラブを利用する市民の総意として、2020年度予算編成に関して以下の事項を要望します。

いずれも府中市の学童クラブの更なる充実・向上を目指し、よりよい育成状況を整えていただけるようにという要望ばかりです。日本の将来を担う子どもたちの為に、本要望について真摯にご検討いただき、ご回答くださいますようお願い致します。

尚、本書の内容及び提出、回答、その他の関連事業につきましては、この事実を一般公開し、多くの方からのご意見を頂く方針としております。予めご了承ください。

『2020年度府中市学童クラブ利用者アンケート』

実施日：2018年11月

対象者：学童クラブ利用の保護者

対象世帯数：1436世帯

実施方法：記述・選択式アンケート用紙（一部Web アンケートフォーム回答）

回答数：871世帯（60.7%）

＜全体要望事項＞

1. 育成時間の延長を求めます。～小1の壁への対応～

●開館時間を8時へ統一し、閉館時間を19時まで延長、それに伴い集団下館の時間帯を増やすことを求めます。（土曜日・学校休校日・長期休業日・振替休業日・学級閉鎖を含む）

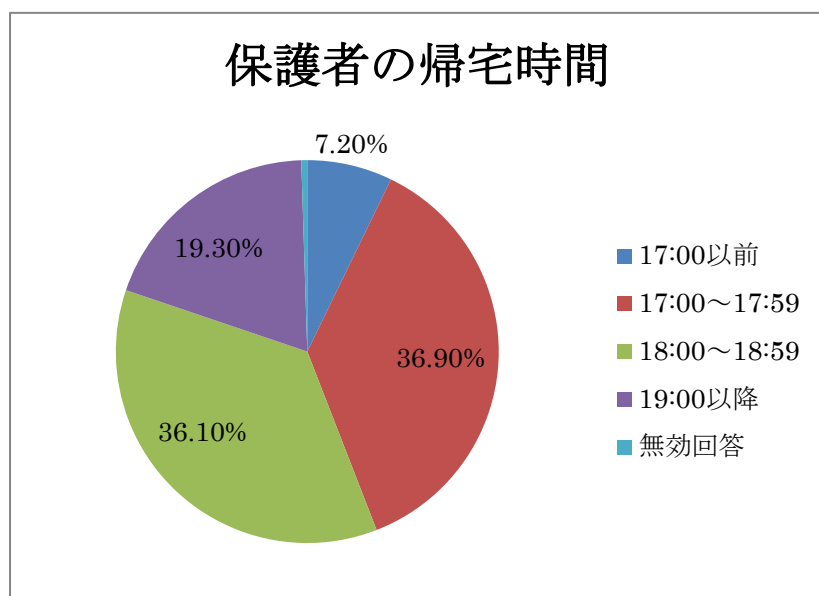
保護者の望む育成時間については、その勤務・通勤形態により状況は大きく異なります。近年、国をあげて問題になっている「小1の壁」とは、小学校入学を期に、仕事と育児の両立が難しくなる問題のことです。

現状、18時の閉所時間に間に合わず、17時～19時の間子どもだけで過ごしている家庭が多くみられます。また、学校休校日の朝は保護者が出勤した後に子どもが鍵をかけて家を出ている家庭も少なくありません。土曜日におきましても保護者の勤務体制は変わらない為、子どもと保護者の負担になっているのが現状です。子どもたちの安全と保護者が安心して働ける環境づくりを求めます。

※閉所時間を19時まで延長してください

※学校休校日の開所時間を8時～19時にして下さい

近隣の市では運営形態が公設公営でも育成時間が8時～19時（18時～19時は別途延長保育料がかかる）というところもあり、府中市におきましても開所時間の延長をお願いいたします。



※昨年度実施のアンケートより抜粋

2. 放課後子ども教室（けやきッズ）とは一体化しないことを求めます。

●学童保育と放課後子ども教室の独自性の発揮と各々のニーズに合った形での発展を求めます。

学童クラブは「保護者が安心して子育てと仕事等を両立できるように支援し、子どもの生活の基盤である家庭での養育を支援する必要がある。」としているのに対して、放課後子ども教室は「全児童を対象とした遊びや学び等の場所を提供するもの」であり本質が全く異なる事業です。

※学童クラブ事業と「放課後子ども教室（けやきッズ）」とは別事業として考えていただき、一体化（一体型）あるいは統廃合を行うことのないよう求めます。

3. 学童の大規模化に伴い学童クラブ施設の改善を求めます。

●子ども一人あたりの専用区画面積の改善を求めます。

放課後児童クラブ運営指針上にある、子ども1人につきおおむね1.65㎡以上の専用区画面積基準を、すべての学童クラブが確保しているとは言い難く、平成29年度においては4学童で専用区画面積基準を下回っています。

この件に関しては、平成29年度の予算編成に関する要望書に対し「この基準に従った運営が実施できるよう、学校施設の活用など教育委員会とも連携しながら育成環境の改善に努める」という回答をいただき、第一・第二学童クラブにつきましては増改築を予定していただきましてありがとうございます。引き続き、専用区画面積基準を下回っている2学童や途中入会の増員により専用区画面積基準を下回る可能性のある他の学童に対する、専用区画面積基準の確保のためのその後の検討内容や進捗状況を教えてください。

4. 長期的視野に立った指導員の採用と労働条件の向上を求めます。

●指導員のキャリア向上と長期的視野に立った雇用を求めます。

2018年度の要望書にて「放課後児童支援員キャリアアップ処遇改善事業」の活用を求めましたが、学童クラブ指導員は市の嘱託職員であるため当該事業の活用は困難であるとの回答をいただきました。しかしながら、指導員としての専門的なキャリアの向上や経験豊富な指導員の雇用維持が育成内容の充実へとつながるといった観点から、昨年度同様「放課後児童支援員キャリアアップ処遇改善事業」の活用を求めます。

●指導員の確保・増員を求めます。

放課後児童健全育成事業の設備及び運営に関する基準では、学童クラブ指導員は出席児童数約40名ごとに2名の指導員（1名は補助員でも可）を配置することとなっています。しかし、2018年度においては年度当初に6名の欠員、その後、募集活動を行ったものの2名の欠員状態である旨をご回答頂きました。

現状及び今後の見通しにつきまして、ご回答をお願い致します。

5. 育成内容に関して公営・公設での運営と共に以下について改善を求めます。

●公営・公設での運営の堅持と学童による育成の差が無いことを求めます。

現在の府中市内の学童クラブは公営・公設で安定した費用負担の少ない運営をしていただき保護者は大変感謝しております。1～3年生までは全入の体制を続けていただいております。保護者はある程度の見通しをもって働くことができます。しかし、民間事業への委託などがなされると市内の学童クラブにおいて育成の質に大きな差が生じたり、安全に十分配慮できるような育成基準が満たされるのか危惧されます。

府中市の学童クラブは市と市民が話し合いを大切にしながら築き上げてきた制度であり、今後も「放課後子ども総合プラン」や民営化にかかわる検討がなされる際には、必ず事前に利用者および市民に知らせ、学童クラブ運営に携わるすべての放課後児童支援員、連携施設・団体が検討の段階から討議に参加できるようにし、保護者の声が反映されるようにしてください。

●4年生以降の受け入れ拡充を求めます。

2015年度から子ども・子育て関連3法による児童福祉法の改正および府中市立学童クラブ条例の改正により、学童クラブ事業の対象児童が3年生までから6年生までに拡大し利用人数の多い学童では継続して待機児童が出ています。

昨年度実施のアンケート集計結果によりますと、回答者の約54%が4～6年生での学童保育が必要と回答しています。

拡充・改善に向けての具体的なご回答をお願い致します。

●南白糸台学童クラブの隣接地への移転と安全対策の拡充を求めます。

南白糸台学童クラブは学校から約300m離れた場所にあり、児童たちは老朽化した歩道橋を使用し車道に面した歩道を通り学童まで通っています。昨年度も「学校の隣接地及び学校内にスペースを確保できないなどの諸事情があり、現状では学校敷地内への移転は困難」との回答をいただいておりますが、児童の安全と交通安全リスク軽減のため保護者からの根強い要望が継続してあります。

なお、南白糸台学童クラブのみが府中市全学童の中で学校の隣接地及び学校内に設置されてい

ないという状況に関しては、本年度から活動が本格化する「放課後子ども総合プラン検討会」において議論・検討の前提となるべき「全学童が同じ条件の下で運営される」という条件にも当てはまっておりません。今後の検討をお願いいたします。

●一日育成の際の宅配弁当などの利用を求めます。

昨年度に引き続き夏休みなどの長期休業中における宅配弁当の利用の要望がありました。「一日育成の際は、学童指導員も宅配弁当の受け取りなどの対応が必ずしもできるとは言えない状況であり、学童クラブの体制面で課題がある」との回答をいただいておりますが、各学童父母会が責任を持って運用することは難しく、引き続き保護者からの根強い要望があります。試験的にひとつの学童で実施してみるなどとはご検討いただけないでしょうか？

●各学童クラブ設置の防災備蓄品に関し、当年度の児童数に応じた備蓄品の提供を求めます。

学童クラブ利用中の災害遭遇時に必要となる防災備蓄品について、前年度の児童数に応じた備蓄品数ではなく、当年度の在籍児童数に応じた数の備蓄品の提供をお願いしたいという要望があがっています。4月の在籍児童決定時に調査していただくなど、柔軟かつ迅速に対応いただき、災害時に不足又は不十分であることのないよう、保護者が引き取りに向かうまでの間の不安を少しでも減らせるような対応を要望します。

特に今年度大幅に在籍児童数の増えた学童クラブ(第二、南白糸台、南町。活動休止中の学童を除く)については、早急に対処いただくことを希望します。

●指導員の対応に改善が必要とされるケースが発生した場合の、指導内容に関する明文化と開示を求めます。

指導員の児童への対応について改善が必要と判断されるケースが発生した場合について、改善策や指導方法など市としてマニュアルを作成していきますと過去に回答をいただいておりますが、その後進捗はいかがでしょうか。回答をお願いいたします。

6. その他の要望・理由など

●トワイライトや民間預かりサービスを利用していない理由

慣れない場所や先生は子どもにとって精神的負担が大きい

祖父母に頼っている

遠方にあり使用が困難（迎えに行けない）

料金が安い

兄弟関係が保育園のため迎えのタイミングが合わない

学童から別の場所へ移動するのは親子双方に負担が大きい

民間事業を知らない

安全面で不安

スポット予約が取りにくく毎月の申し込みが必要など利用手続きが面倒

以前利用していたがアルバイトの人に差別された感じがした

保育園の後に迎えに行くと時間がかかり帰宅が遅くなる

複数の場所に子どもを預けるのは子どもにとって良い環境と言えない

時短勤務やシフトで何とか調整している

突然の残業に対応していないので利用できない

●登下校メール配信サービスや子どもの位置情報お知らせサービスを希望する理由

学童の電話が壊れていて連絡がつかない時があり不安だった

親がいない時間帯の出発や帰宅が確認できる

長期休暇時や休校日の学童到着が確認できる

学童を出たのか、帰宅できたのかがわかる

職場に利用者がいて見ていると安心感がある

子どもがトラブルに巻き込まれた時などの緊急対応が早くできる

児童が登館しない時の初動対応が早くなり指導員さんの負担軽減にもなる

不審者情報が多く不安が大きいので安全面の強化を希望

子どもが普段と違う行動をとると気づきにくい把握できるようになる

学童に登館する日としない日を間違えることが多いので

暗い時間帯や暗い道・一人になるタイミングは心配

心配なので個人的に携帯のサーチ機能を使っているが本来は禁止されているので

学童を勝手に休んでしまうことがあり行動が把握できないので

以前住んでいた地域ではGPSが導入されていて安心だった

学校・学童では携帯禁止なので公に導入してもらえれば助かる

●宅配弁当を利用したい理由

家から持参したお弁当は食中毒が心配

毎朝の準備が負担で気持ちの余裕を奪われる

子どもの荷物の軽減

栄養バランスよく食べられる

夏は特に冷蔵庫のない状況でお弁当を保管しておくのが心配

親の体調が悪い時や出張時に利用したい

事前登録制（申込み形式）にして利用したい

アレルギー対応が可能なら利用したい

父母会主導ならさらに親の負担が増えるので不要だが父母会主導でないなら頼みたい

親の負担感が軽くなると心に余裕ができる

たまには皆で同じお弁当を食べるのも楽しそう

どうしても作れない時には安心

疲れや忙しさと愛情弁当の板挟みから助けて欲しい
週に1回でも作らなくていい日があると気持ちが違う

●その他具体的に求める改善点

学習室の設置と学習・宿題時間の確保

施設面積の増設・トイレの増設

上履きの導入

学校が休みの時は7～8時開館・19時閉館

果物や手作りのおやつを提供

駐車場の確保

インターホン新しい物に交換

子どもの人数に合わせて指導員の人数も増やす・研修制度などを取り入れた質の向上

土曜日午後からなどの途中受入れ

学校の敷地内にあるので門から一旦学校の外に出ることなくそのまま登館させて欲しい

夏のシャワーの実施

玄関前の通路が暗いので街灯の増設

災害備蓄品の定期的なチェックと学童総員*3日分の確保

学校から学童へ行く途中の事故や怪我の連絡を学校にも入れて欲しい

学校から離れているので敷地内に移設してほしい（南白糸台）

庭が狭いので十分に外遊びができない（南白糸台）

●学童の民営化について賛成・反対どちらでもない理由

民営化になっても指導員の質が向上するとは限らない

利用料金がどのように変わるのか分からないので

延長保育に取り組んでもらえるのなら賛成

育成にこだわらなくなりけやキッズと変わらなくなるのでは

民営化になると学童ごとに差ができてしまうのではないかと

民営化に切り替える時に混乱するのではないかと

公営・民営どちらにもメリット・デメリットがあるのでどちらとも言えない

民営化になって経営維持ができず突然の閉鎖になってしまうと困る

子どもたちの安全がしっかり守られるならどちらでもよい

民営化によって指導員不足が解消されるのか分からない

民営化することで市の公的責任の後退につながらないか心配

民営化で育成レベルが上がるなら賛成だが育成料金が上がるのは困る

料金が上がらず質が良くなり指導員さんの待遇も上がるのなら賛成

他市の親御さんから指定管理になって指導員増・延長有・利用料が下がったと聞き同じ条件なら賛成だがどこの民間企業が指定管理になるか分からない

保育園でも運営団体により雲泥の差があったので運営団体の良心ろ理念次第

有料オプションが増えて選択肢がひろがるのならば賛成

突然の指導員の異動などがあると子どもに影響する

有資格者の配置があり、かつ待遇が改善されるのであれば賛成

●今後の学童クラブに必要なと感じるもの

増設による充分で安全な育成スペースの確保

育成時間の延長(開館時間を早めること・閉館時間を遅くすること)

指導員(有資格者)の増員・質の向上・待遇改善

障がい児の受け入れと対応の拡充

施設老朽化への早期対応

GPSやメール配信などを使ったセキュリティ強化

おやつの見直し(市販を減らしからだにいいもの)

4年生以上の受け入れ拡大

配布物や連絡帳や出欠席のお知らせはSNSを利用する

指導員の研修機会を増やす

セキュリティーの強化

長期休暇中の宅配弁当の導入

4年生以上は長期休暇中だけでも受け入れて欲しい

日・祝日の開館

保護者の負担軽減(イベント・父母会・弁当)

●府中市の学童全般についての意見・要望

トワイライトの育成時間を23時までに延長

小1の壁を解消するためにも保育所と同等レベルで市が関わって欲しい(育成時間・給食・おやつ・指導員の数・面積)

指導員の質の向上・待遇の改善・研修制度の充実・人数の確保

4年生以上・障がい児の受け入れ拡充

育成時間の延長(閉館時間が早いので仕事を調整する必要がある・十分に働けない)

保育園と同レベルの育成時間の確保

夏休み以外の長期休暇や土曜日も8時開館

都立小児医療センターでは看護師による無料出張勉強会を実施しており、お知らせも配布しているので指導員の方々に受講して欲しい

宿題の取り組みと学習支援

公設民営にした場合、行政が定期的にスタッフの水準や運営内容をチェックするような体制を設けて欲しい

老朽化への対応と衛生面の改善

1～3年生全入の継続

長期休暇時の宅配弁当の導入検討

トワイライトは急な申込みが無理な場合があるのでトワイライトではなく各学童で夜の育成時間を確保すべき

民営化により指導員不足が解消するのか疑問

規制緩和に伴って指導員の採用基準を低くすることは避けて欲しい

各学童に館長さんのような責任者を配置して欲しい

毎年府連協から要望書を出しているにもかかわらず市の対応に変化が感じられません

民営学童が無いので選択肢が公設公営しかない・選択できるように学童自体を増やして欲しい

今後学童を利用する子どもは増えることが見込まれるので学童の数やスペースを増やして欲しい

災害時に備えた備蓄品の十分な確保

けやキッズ利用後に学童に登館できるようにして欲しい

指導員が他市の学童を見学したりできるようにして欲しい

上履きの導入

以上